

## ■環境フェスタの振り返り

環境ネットでは、10月21日（土）に開催された環境フェスタに、調布市に拠点を置く一般社団法人えねこやに太陽光発電による再生可能エネルギー生活を体験できる移動式えねこやのフェスタへの出展を依頼しました。

えねこやは、太陽光発電だけでなく、無電力ペレットストーブ、高断熱、高気密の省エネを体験できるすぐれものです。



↑到着したえねこや



↑太陽光発電パネル



↑えねこや前のイベント



↑えねこや内部



↑断熱効果を触って体験



↑太陽光の調理器具

えねこや前でのイベントでは、高気密、高断熱効果、さらにLED電球と白熱電球の消費電力量の差（同じ60Wの明るさで、LED電球は白熱電球の約8分の1）などを触って、目でみて省エネ体験できます。

実際に体験した市民は、省エネ効果に驚くとともに納得していらっしゃいました。以下にえねこやについて事務局からの報告と、市民とコンタクトしたえねこやスタッフの感想をまとめました。

## ●事務局からの報告

### えねこやについて

- ・2021年に開催の第13回環境ネット会議で、えねこやの代表に依頼して講演会を開催しました。
- ・同年に里山フェスタにえねこやを出展することを計画したのですが、コロナ禍により中止となりました。
- ・今回、環境フェスタでようやく出展が実現したのですが、フェスタ当日は小学校で土曜授業があり、小学生の参加が少なかったことが悔やまれます。
- ・えねこや活動の一環として多摩地区の小学校への出前授業を開催しており、環境フェスタへの出展を契機に、国立市の小学校、中学校における出前授業の実施を働きかけていきたいと考えています。

## ●えねこやスタッフの感想。

- ・木製窓枠とペアガラスの窓の気密性能や、壁の断熱材に触れてみて、ご自宅の都営アパートでも何かできることがあるかと聞かれた方がいて、国立市が用意されていた助成制度の情報をご案内しました。
- ・30年ほど前、太陽光発電の黎明期に、当時勤めていた商社でソーラーパネルを扱った話をされた方はここまでソーラーパネルが一般に広がったことが感慨深いと言われていました。
- ・災害で停電になった時にどの程度の蓄電量が必要か（例えば冷蔵庫を稼働できるか）などポータブル蓄電池で試しているという方もいました。
- ・子どもたちには、太陽光で作られた電気で色々な家電が動いていることを話しました。
- ・ペレットストーブについては、煙がほとんど出ないため、住宅地でも使用可能であることをお伝えしました。
- ・全体として、電気代の高騰もあって、省エネや電力自給自足には関心を持たれている方が多いと感じました。
- ・そういう意味で、移動式えねこやで断熱などを体験した後に、市の助成情報を提供するという流れは、とても良かったのではないかと思います。
- ・比較のお若いご夫婦が、二重窓にリノベされた家にお住まいとのことで、感心しました。えねこやの説明をするまでもない、「脱炭素」をよく理解し実践されている市民が立ち寄ってくださいました。
- ・逆に、少しは関心があっても実践となると・・・という、たぶん大多数であろう市民が、あまり来てくださらなかったこと、また当日、学校行事があったとのことで、小学生の来場が少なかったのが残念でした。